

第61回 北海道開発局空港技術研究会議 発表要旨一覧

【日時】令和6年2月29日(木) 13:00~17:00

【場所】札幌第1合同庁舎 2階講堂 (web同時配信)

開始時間	終了時間	時間	発表タイトル	所属	役職	発表者名	要旨
13:10	13:40	0:30	北海道の空港における低温ひび割れ防止に関する取り組みについて —低温ひび割れを防止するアスファルト混合物の開発—	ニチレキ株式会社 北海道支店 技術課		内海 正徳 (うちうみ まさのり)	北海道エアポート(株)が運営する空港では、アスファルト舗装に低温ひび割れが発生している。このひび割れを防止することは、舗装の長寿命化を図る上で重要な課題である。そこで、著者らは低温ひび割れの発生メカニズムを理論的に整理し、低温ひび割れを防止するアスファルト混合物の日温度変化量に基づく定量的な要求性能の設定方法およびその評価方法を確立した。本報文中では、北海道内の温度測定結果から定めた要求性能および評価結果等についての概要を記述する。
				北海道科学大学 工学部 都市環境学科	教授	亀山 修一 (かめやま しゅういち)	
				北海道エアポート株式会社	(法人:共同発表)		
13:40	14:10	0:30	新千歳空港 誘導路複線化事業について	北海道開発局 札幌開発建設部 千歳空港建設事業所 工務班 第2工務係	係長	藤林 孝行 (ふじばやし たかゆき)	新千歳空港では降雪シーズン(11月~3月)に欠航や遅延が多く発生しており、冬の安定運航が課題となっている。冬期における欠航や遅延の回避・軽減のため、航空機動線や除雪動線を確保することが可能となる末端取付誘導路複線化事業を計画・実施しており、令和5年6月15日に北側が完成し、先行して供用開始したことから、その整備に至った経緯や効果、実施における問題点や解決方法について発表する。
14:10	14:40	0:30	新千歳空港 B滑走路の液状化対策工事について	株式会社 山田組 土木事業部	工事長	井塚 洋樹 (いづか ひろき)	新千歳空港では、大規模地震災害時に緊急物資等輸送地点としての機能確保、航空ネットワークの維持や背後圏経済活動の確保を図るため、滑走路の液状化対策工事や河川函渠等の耐震補強工事を実施している。本発表では、「新千歳空港B滑走路液状化対策工事」における、浸透固化処理工法を主体とした施工管理及び安全対策、創意工夫、また、CIMを活用した品質管理・出来形管理について報告する。
						佐伯 将大 (さえき まさひろ)	
14:40	15:10	0:30	東京国際空港における地下埋設物BIM/CIMモデル活用について	東京航空局 空港部 空港企画調整課		吉田 大輝 (よしだ だいき)	東京国際空港には、空港運用の上で必要な航空保安施設のケーブル、給油管、共同溝、トンネルといった多数の地下埋設物が埋設されている。埋設物は空港運用を行う上で、重要な役割を有していることから、損傷させた場合、空港運用休止といったリスクを背負った上で、空港内工事を実施しているところである。地下埋設物損傷事故による空港運用への影響を未然に防ぐために、地下埋設物台帳に示されている埋設物の3次元化を行い、東京国際空港地下埋設物BIM/CIMモデルの構築を行った。地下埋設物BIM/CIMモデルを作ったことにより、3次元化により地下埋設部との位置関係が具現化された。作成したBIM/CIMモデルに関する紹介、利用方法、今後の計画及び今後の課題について報告する。
15:25	15:55	0:30	ビッグデータを用いた訪日外国人の国内周遊実態に関する分析	国土交通省 国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港計画研究室	主任研究官	鎌倉 崇 (かまくら たかし)	航空需要予測は、その手法や結果について交通政策審議会航空分科会等に諮りながら、これまで概ね5年毎に実施してきている。国総研では予測手法の改善を継続的に実施しており、次期の航空需要予測に向け、少子高齢化等、空港民営化、リニア開業、インバウンド、訪日外国人の国内周遊、新型コロナウイルス感染症等の影響を推計できる予測モデルの開発に取り組んでいる。その一環として、ビッグデータを活用した訪日外国人の国内周遊実態に関する調査・研究について紹介する。
15:55	16:25	0:30	丘珠空港の将来像の実現に向けた取組について	札幌市 まちづくり政策局 空港活用推進室	計画調整 担当係長	林 健司 (はやし けんじ)	札幌市では、市内東区に位置する丘珠空港が果たすべき役割や目指す方向性について「丘珠空港の将来像」を令和4年11月に公表し、空港機能の強化や、空港と周辺地域との調和と共生等に取り組んでいる。本発表では、将来像の内容や背景、将来像実現に向けた各種取組(国への要望活動、地域協議、利用促進等)の現況及び今後について報告する。
16:25	16:55	0:30	ベトナム国ロンタイン国際空港における設計業務	成田空港給油施設株式会社 技術部 設計グループ		田中 あきほ (たなか あきほ)	「ベトナム国ロンタイン国際空港建設プロジェクトPhase1:パッケージ4.1(空港基本施設の詳細設計)」がAirports Corporation of Vietnam(ベトナム空港公社)から発注された。受注者は日本空港コンサルタンツ(JAC)を代表とする日本・フランス・ベトナム6社による共同企業体(JV-JV)で、弊社は同プロジェクトのうち、航空機給油施設の設計業務をJACのSubcontractor(下請け)として実施し、新たに海外大規模空港設計の実績を得ることができた。本報告では契約上の守秘義務もあり設計内容ではなく、本業務に係る準備や取り組み、工夫や得られた成果と今後の課題について報告する。